



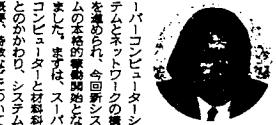
「スーパーコンピュータ」の活躍

東北大学総長 西澤 順一

材料科学研究に活躍する

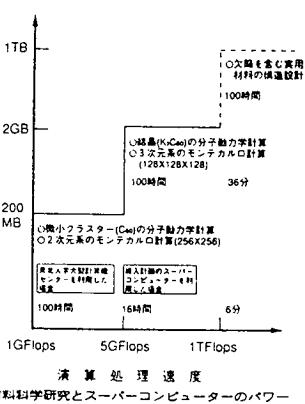
材料科学研究に活躍する

スーパー・コンピュータ・システム
HITAC S-3800



川添良幸 教授

スーパー・コンピューターによる材料設計
シミュレーションによる推移



利用者の要求に対応

主な計算機を連絡

快適な利用環境を実現

材料科学の研究が進むにつれて、計算機の性能が求められることが多くなっています。しかし、計算機の性能だけではなく、計算機の使いやすさも重要な要素です。そこで、東北大学では、計算機の性能と使いやすさを両立させるため、新しい計算機環境を構築しました。この環境は、計算機の性能を最大限に引き出すだけでなく、計算機の操作性を向上させることで、研究者の作業効率を大幅に向上させます。

この新しい計算機環境は、東北大学の研究者たちが日々の研究活動で使用するためのものです。また、東北大学の研究者たちは、この計算機環境を用いて、新しい研究結果を発表したり、他の研究者たちとの情報交換を行ったりすることができます。また、東北大学の研究者たちは、この計算機環境を用いて、新しい研究結果を発表したり、他の研究者たちとの情報交換を行ったりすることができます。

この新しい計算機環境は、東北大学の研究者たちが日々の研究活動で使用するためのものです。また、東北大学の研究者たちは、この計算機環境を用いて、新しい研究結果を発表したり、他の研究者たちとの情報交換を行ったりすることができます。また、東北大学の研究者たちは、この計算機環境を用いて、新しい研究結果を発表したり、他の研究者たちとの情報交換を行ったりすることができます。

この新しい計算機環境は、東北大学の研究者たちが日々の研究活動で使用するためのものです。また、東北大学の研究者たちは、この計算機環境を用いて、新しい研究結果を発表したり、他の研究者たちとの情報交換を行ったりすることができます。また、東北大学の研究者たちは、この計算機環境を用いて、新しい研究結果を発表したり、他の研究者たちとの情報交換を行ったりすることができます。

材料設計の迅速化へ

第三の研究方法』が注目

材料設計の方法は、従来の手作業によるものと、計算機によるものとに大別されます。手作業による方法では、複数の候補を試行錯誤的に選択する必要があります。一方で、計算機による方法では、複数の候補を同時に評価することができるため、迅速な設計が可能になります。しかし、計算機による方法では、計算機の性能によっては、計算時間が非常にかかることがあります。

そこで、東北大学では、計算機の性能を最大限に活用するための新しい研究方法を開発しました。この研究方法は、「第三の研究方法」と呼ばれています。この研究方法では、複数の候補を同時に評価するだけでなく、計算機の性能を最大限に活用するための新しい手法を用いています。この研究方法により、計算時間が大幅に短縮されることが期待されています。

この研究方法は、東北大学の研究者たちが日々の研究活動で使用するためのものです。また、東北大学の研究者たちは、この研究方法を用いて、新しい研究結果を発表したり、他の研究者たちとの情報交換を行ったりすることができます。また、東北大学の研究者たちは、この研究方法を用いて、新しい研究結果を発表したり、他の研究者たちとの情報交換を行ったりすることができます。

川添良幸 教授に聞く

川添良幸 教授に聞く

川添良幸 教授は、東北大学の教授で、材料設計の研究者として有名です。川添良幸 教授は、東北大学の研究者たちが日々の研究活動で使用するための新しい研究方法を開発しました。この研究方法は、「第三の研究方法」と呼ばれています。この研究方法により、計算時間が大幅に短縮されることが期待されています。

川添良幸 教授は、東北大学の研究者たちが日々の研究活動で使用するための新しい研究方法を開発しました。この研究方法は、「第三の研究方法」と呼ばれています。この研究方法により、計算時間が大幅に短縮されることが期待されています。

東北大学金属材料研究所で稼働開始

東北大学金属材料研究所で稼働開始されたばかりの新規の計算機環境は、東北大学の研究者たちが日々の研究活動で使用するためのものです。また、東北大学の研究者たちは、この計算機環境を用いて、新しい研究結果を発表したり、他の研究者たちとの情報交換を行ったりすることができます。また、東北大学の研究者たちは、この計算機環境を用いて、新しい研究結果を発表したり、他の研究者たちとの情報交換を行ったりすることができます。

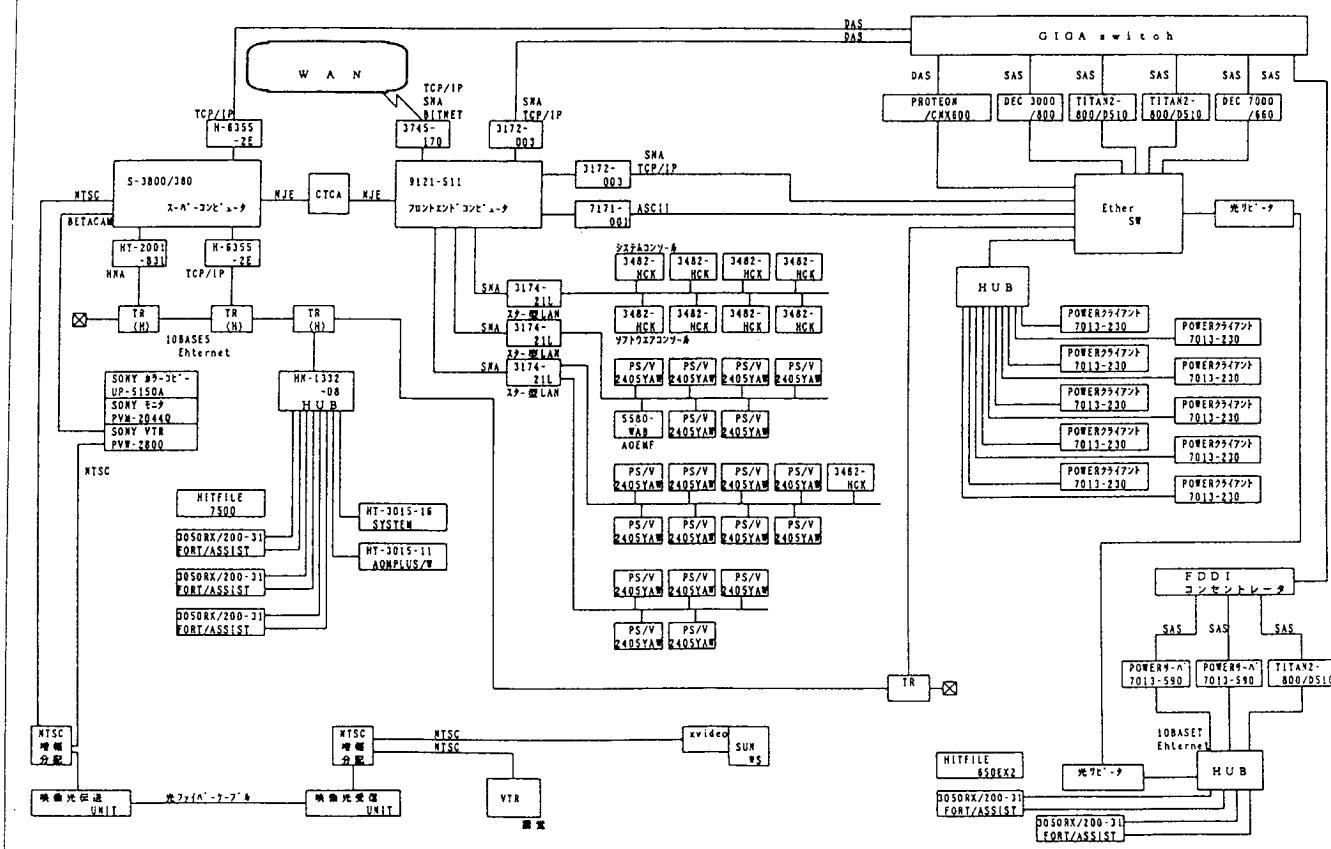
東北大学金属材料研究所で稼働開始されたばかりの新規の計算機環境は、東北大学の研究者たちが日々の研究活動で使用するためのものです。また、東北大学の研究者たちは、この計算機環境を用いて、新しい研究結果を発表したり、他の研究者たちとの情報交換を行ったりすることができます。また、東北大学の研究者たちは、この計算機環境を用いて、新しい研究結果を発表したり、他の研究者たちとの情報交換を行ったりすることができます。

東北大学金属材料研究所で稼働開始されたばかりの新規の計算機環境は、東北大学の研究者たちが日々の研究活動で使用するためのものです。また、東北大学の研究者たちは、この計算機環境を用いて、新しい研究結果を発表したり、他の研究者たちとの情報交換を行ったりすることができます。また、東北大学の研究者たちは、この計算機環境を用いて、新しい研究結果を発表したり、他の研究者たちとの情報交換を行ったりすることができます。

東北大学金属材料研究所で稼働開始されたばかりの新規の計算機環境は、東北大学の研究者たちが日々の研究活動で使用するためのものです。また、東北大学の研究者たちは、この計算機環境を用いて、新しい研究結果を発表したり、他の研究者たちとの情報交換を行ったりすることができます。また、東北大学の研究者たちは、この計算機環境を用いて、新しい研究結果を発表したり、他の研究者たちとの情報交換を行ったりすることができます。

東北大学金属材料研究所で稼働開始されたばかりの新規の計算機環境は、東北大学の研究者たちが日々の研究活動で使用するためのものです。また、東北大学の研究者たちは、この計算機環境を用いて、新しい研究結果を発表したり、他の研究者たちとの情報交換を行ったりすることができます。また、東北大学の研究者たちは、この計算機環境を用いて、新しい研究結果を発表したり、他の研究者たちとの情報交換を行ったりすることができます。

東北大金属材料研究所のネットワーク構成図



良い検索環境

ホストコンピューターの特徴を生かして

本研究室では、主にホストコンピューターによる検索環境を構築している。ホストコンピューターは、データベースや専門的な計算機能を備えているため、検索結果の精度が高く、専門性のある情報収集が可能である。また、検索結果を直接表示する機能があるため、検索結果を確認する手間が省ける。しかし、検索機能が専門的であるため、検索結果が複数ある場合、検索結果を整理する手間がかかる。また、検索機能が専門的であるため、検索結果が複数ある場合、検索結果を整理する手間がかかる。

